

農林水産大臣

林 芳 正 様

有明海再生のための開門調査の
早期実施を求める要請書

平成25年7月29日

佐 賀 県

佐 賀 県 議 会

佐賀県有明海沿岸市町水産振興協議会

佐賀県有明海漁業協同組合

有明海再生のための開門調査の早期実施を求める要請書

記

有明海再生のための水産振興事業及び調査につきましては、格段の御高配と御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

宝の海・有明海は、世代を超えて共有すべき県民の共通の財産であり、有明海の再生は、漁業者のみならず県民の切なる願いです。

しかしながら、有明海では、依然として、赤潮が多発し、貧酸素水塊が発生するなど、今日の有明海を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっています。

こうした中で、開門調査は、有明海的环境変化の原因究明や海域環境の改善効果の把握など、有明海の再生に資する調査となることが重要と考えており、これまで、様々な機会を捉え、開門開始の時期や開門方法など開門調査に対する佐賀県側の考えを訴えてまいりました。

これに対しまして、開門開始時期については、今年5月20日、農林水産省から、ノリ漁期を避けた前倒しは、現実的には難しいとの説明がありました。

一方、林農林水産大臣におかれては、工事の方法、地元の理解と協力により、工事の期間は伸縮する旨の発言をされており、一定の前倒しは可能ではないかと考えております。

漁業者は、ノリ漁期中の開門開始については、開門初期における調整池からの大量の淡水の排出によるノリ養殖への影響を懸念しております。

つきましては、開門開始時期等について、下記のことを強く要請します。

- 1 ノリ漁期を避けた前倒しについて、時間が残されている限り、ぎりぎりまで努力すること
- 2 ノリ漁期を避けた前倒しができなかった場合は、12月開門はやむを得ないが、その場合はノリ養殖に影響の出ないような方法で開門すること

平成25年7月29日

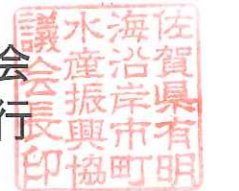
佐賀県知事 古川 康



佐賀県議会議長 木原奉文



佐賀県有明海沿岸市町水産振興協議会
会長（佐賀市長） 秀島敏行



佐賀県有明海漁業協同組合
代表理事組合長 草場淳吉

